

東日本大震災 連合「救援ボランティア」に参加 被災地の後片付けなどに従事!

連合本部は、3月31日「東日本大震災」による甚大な被害が発生した岩手、宮城、福島に向け、被災地域の後片付けなどのボランティア活動に従事する「連合救援ボランティア派遣団（第1陣総勢129人）」を送り出した。

JR連合としても、4月5日に開催した第11回執行委員会において、「東日本大震災」への当面の取り組みとして、連合の救援ボランティア活動に継続的に参加・派遣を行うとの方針を確認、第3陣（JR連合としては第1陣）となる連合救援ボランティアに4月16日から23日までの間、JR連合からJR連合茨山企画部長、JR四国労組大谷執行委員、JR西労組伊達執行委員が参加した。



連合加盟組織からそれぞれ派遣された59名で編成された第3陣は、4月16日、連合本部での出発式を終えた後、バスでベースキャンプの仙台市宮交会館へ向かい、夕方には現地受け入れ式とミーティングを行い、翌日から、津波で甚大な被害を受けた石巻地区に入り作業を開始した。

現地では10名程度の班が担当した地域には、3メートル程度の津波被害を受けて1階部分が完全に浸水したものの、復旧作業により居住可能な家屋が多く、被災された方々が避難所から帰宅できるよ



津波により家屋周りには、無数のガレキとヘドロが堆積して異臭を放っているほか、漂着した自動車や倉庫なども散乱しており、大量のヘドロやガレキをスコップと土嚢袋、一輪車等を使い、家屋の周辺や屋内から搬出を行うなど、重労働ではあるが、住民の方から感謝の言葉を受けると、片付けだけでも役に立て、やりがいを感じた。



被災地では復旧、復興が着実に進んでいるもの、被害規模があまりにも大きく、ボランティアもまったく手が足りない状況である。長期の活動が想定されるが、継続的な取り組みが重要である。

第82回ミーデー 四国各地で開催!

「ミーデースローガン、すべての働く者の連帯で、働くことを軸とする安心社会と自由で平和な世界をつくらう」

第82回ミーデーは、4月29日に愛媛と高知で、5月1日に香川と徳島でそれぞれ開催され、JR四国労組からも多くの組合員が参加した。



民会館で開催された愛媛中央ミーデー大会では、主催者を代表して挨拶に立った連合愛媛の木原会長



は、「東日本大震災の復興は長期になることが見込まれる。『つながろうNIPPON』を合い言葉に国民が協力して難局を乗り越えよう」と呼びかけた。また、春闘交渉が凍結、中断をされた組合もあ



「全国的に影響が懸念されており、支援態勢を強化する」などあいさつ。来賓挨拶の後、「東日本大震災・つながろうNIPPON救援宣言」を満場の拍手で採択、カンパや物資、ボランティア派遣に



今後も全力で取り組むことを確認した。最後に、一日も早い復興と労働者が安心できる社会を目指し、ガンパロー三唱で氣勢を上げた。愛媛をはじめ、各県のミーデーは、震災によりデモ行進を自粛し、式典のみの開催となった。

支援を継続していく。今後、組合員の協力を要請する。

第8回本部執行委員会開催

第8回本部執行委員会は、4月16日（土）10時40分より本部1階会議室で開催された。

- ・組織の強化拡大
- ・団体の強化拡大
- ・11春闘（JR四国・ジェイアール四国バス）
- ・（事業）
- ・交通共済担当者会議
- ・（自動車）
- ・第2回拡大業務委員会
- ・（政策）
- ・経営支援措置の確実な実施等の要請について
- ・高知支部
- ・（政治）
- ・統一地方選挙結果を要請した。

- ・【議事】
- ・団体交渉
- ・新賃金、諸制度改善、契約社員新賃
- ・金（受結承認）
- ・平成23年度の夏季手当要求の基本的な考え方について
- ・平成23年度の夏季賞与要求の基本的な考え方について
- ・連合ボランティア活動への参加者募集について
- ・第30回定期大会
- ・選挙管理委員会の設置について
- ・第1回選挙管理委員会の開催について
- ・乗務員共済運営委員会の開催について
- ・営業部会「答申」について
- ・大阪地区集会及び東京地区集会の開催について
- ・JR連合「安全シンポジウム」への参加について
- ・JR連合「第20回

【経過報告】

その後、経過報告と議事に移り、意思統一を図った。

定期大会」の代表員及び傍聴者の取り扱いについて当面するスケジュールについて

その他

- ・第2回組織財政専門委員会の開催について
- ・次期（第9回）執行委員会の開催について
- ・ゴールデンウィーク期間中における本部への連絡体制について



各地区オルグ開催

4月11日の高知地区を皮切りに、真辺委員長はじめ本部各担当及び支部役員による職場オルグが実施された。



このオルグは、春闘の取り組み経過をはじめとする最近の情勢等について報告する中で、各職場における組合員の生の声を聞き、今後の取り組みに反映させることを目的に毎年行っている。組合員からは、効率化施策、労働条件関係や安全、ダイヤ改正等の職場諸問題をはじめ、支援策をはじめとする政策課題関係、統一地方選



挙などの政治・共闘についての意見が多く出された。集約した意見については精査し、今後、団体交渉や経営協議会等に反映していくこととしている。

レク・サークルだより

香川支部

香川支部「団結ボウリング大会」開催!



香川支部では、組合員相互の親睦・団結強化を図るため高松地区ボウリング大会を3月2日に、また多度津地区大会を3月4日に開催しました。

恒例となったこのボウリング大会は、本部ボウリング大会において優勝を狙える選手を選抜するという予選の意味も兼ねており、各分会より腕自慢・口自慢の参加者、総勢96名が参加するなか、熱い投球、口撃など熾烈な熱戦が繰り広げられました。

本戦の本部ボウリング大会では、当然優勝を狙っていきま

すし、香川支部チームのワンツーフィニッシュも狙いたいと思います。今後、レク・サークル等、様々な行動・集会を開催し、全組合員参加のもと、更

なる組織の団結・強化に繋がっていききたいと思えます。

香川支部 福田 正人

「分会主催増収活動」スタート!



私たち多度津運動区分会では、4月18日から22日までの5日間の日程で、今年度最初となる四国再

「鉄道利用者の暴力行為撲滅」を訴えチラシ配布!

JR四国労組は4月19日、愛媛県協を皮切りに各県主要駅において、交運労協・鉄道部会が昨年取り組んだ「鉄道利用



者の暴力実態調査の結果を踏まえ作成した「鉄道利用者の暴力行為撲滅」を訴えたチラシを配布した。

チラシには、「鉄道を利用する乗客から駅係員や乗務員などへの暴力行為は増加傾向にある。暴力は犯罪であり、被害者も加害者もその後の生活が大きく変わ

力求めた内容としており、駅頭で鉄道利用者による暴力行為の撲滅と更なる鉄道のご利用を求め、チラシを配布した。



徳島支部

「親睦釣りツアー」開催!



多くの組合員に参加頂き、丸亀島では、ジユウシーな若鶏と歯応えのある親鳥を肴に、組合員相互の意見交換を行い、日頃の緊張感の続く乗務の中で、ひと時の休息を過ごし、心身ともにリフレッシュすることができ、後日からの鋭気を養うことができました。

今後、本部方針に基づいた分会活動を積極的に計画し、組合員の親睦と組織強化に繋がる運動を継続していききたいと思えます。

多度津運動区分会 高島 和久

「かにバスツアー」

2011!

徳島管理駅分会では、2月17日から19日までの3日間、鳥取県の米子、「ゲゲ



ゲの鬼太郎」の原作者が生まれた町、境港を訪ねました。

この3日間のツアーには、21名の参加があり、今回は鉄道利用ではなく高速バスを利用しての旅となりました。他の職場からも参加があり、お互いに交流を深め



徳島運輸所四国再発見委員会と協賛して、2月17、19日に増収キャンペーン「ゲゲ

のかにバスツアー」を開催し、総勢77名の参加がありました。車窓から見る景色は、徳島では見ることのできない一面の銀世界とその積雪量。そして、年末・年始に襲来した大寒波の爪



ツアーを利用し、増収を兼ねた親睦会を39名の参加のもと開催しました。

当日は大雪の降る大寒波の中、松山を出発し、丸亀駅まで列車で移動、丸亀駅からバスに乗り換え鳥取県境港へ向かいました。

反省や明日の磯上りの期待等々、大いに盛り上がり交流を図りました。

待ちに待った当日は、晴天に恵まれ、参加者の大半が魚の「顔」を見ることができ、中にはクーラーボックスが満杯になる方もおり、楽しくリフレッシュできた1日となりました。

今後、親睦を図りながら、更なる分会組織の活性化に繋がっていききたいと思

徳島管理駅分会 安岡 朋亮

愛媛支部

「ゲゲのゲツ」

私達、松山運輸所分会では2月12日に、「ゲゲのかにバス

親睦会の会場の弓ヶ浜では、美味しい松葉ガニ料理とお酒に舌鼓を打ち、組合員同士の親睦を深めることができました。

今後、組織の団結強化と増収活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

徳島運輸所分会 立石 信弘

松山運輸所分会 森 裕介

